

原子力災害、屋内退避・避難計画の抜本的見直しを

私は16日に一般質問を行いました。ここでは、原子力災害対策とコウノトリの観察体制などを取り上げました。

【橋爪】（原子力災害対策では）過酷事故を想定し、放射性プルームがどう動くか、最新の気象予報技術などで365日間のシミュレーションをすることが対策を考えるときの基本だ。市長の認識はどうか聞きたい。

【市長】それぞれの災害が最大限に起こった状態で（対策を）考えなければならないと思っている。原子力災害についても同様だ。

【橋爪】元新潟県避難委員会の委員の方から、2024年2月24日の気象条件のもとの放射性プルームが柏崎刈羽原発からどう流れるかのシミュレーションを見せてもらい驚いた。北風が吹いた場合、米山、尾神岳、兜巾山の存在は大きい。プルームは十日町、津南をまわって、板倉、清里などを通して直江津に行く。UPZ圏内の柿崎、吉川、大島などは通らな

い。こうなってくると、こういう事例が365日の中でどれくらいあるかが重要だ。その結果によってはUPZ圏内を対象にした訓練も避難場所も見直しが必要となる。市内に14か所あるモニタリングポストも増設が求められる。どう思うか。

【防災危機管理部長】原子力防災に限らず、新しい事象があればすぐさま対応しなければならない。新たなプルームの広がりが出るのであれば、その知見を得て、避難計画の見直しにも取り組まなければならない。

【橋爪】特別天然記念物のコウノトリが市内で営巣し4羽にヒナを誕生させ、巣立ったことで、ドラマチックな1年となった。これまでの取組の経過と今後の観察



体制の方針などを聞きたい。

【教育長】これまでヒナの足環装着などで約10万円かかった。この作業などで東北電力さんから協力していただいた。抱卵やふ化、巣立ちなど、その瞬間でしか観察できない場面も多く、集中した観察体制が必要だ。来年度は定点カメラによる撮影などを行っている自治体の事例を参考にするとともに、野鳥の会のような団体の協力を仰ぎながら、コウノトリの保護のために適切に対応していきたい。

この新方針に対して本城文夫議員などの議員有志が18日、上越地域医療センター病院の早期建設を求める決議案を提出しました。提案理由の説明をした本城議員は、「この病院は上越市民にとって命と健康のよりどころとして頼りにされてきた。施設の老朽化などから一刻も早い建設が求められているが、今回の発表は早期建設を悲願にしてきた多くの市民にとって寝耳に水であり、失望感を与えたことは否めない現実だ。一刻も早く基本設計に着手し、早期建設に資することを求める」とのべました。

この決議案をめぐっては5議員が賛成、反対の立場から登壇し、討論しました。採決の結果は賛成15、反対16となり、僅差での否決となりました。しかし、反対した議員からも方針転換の決め方や老朽化対策などで注文がつけられるなど異例の展開となりました。新方針が進めた場合、市長選での大きな争点になる可能性も出てきました。どうあれ、いつときも早い建設を求める運動が大事になっていきます。力を合わせて頑張りましょう。



可決にもう一步及ばず センター病院の早期建設決議案



【ナンテンハギ】（再掲）マメ科の多年草。漢字で「南天萩」と書きます。別名は「アズキノバ」。春は山菜の一つとして親しまれています。花は紫色で、6月頃から10月頃まで咲きます。この花と初めて出会ったのは従弟の庭先です。まだ、山中で見たことはありません。花言葉は「溢れる愛情」。写真は10月17日、大島区板山にて撮影。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2185 2024.12.22

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のいかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

炭火が赤くなり、少し茶色がかった鉄瓶からは湯気が立っている。十日ほど前、三和区川浦のケイさんが発信した鉄瓶の画像を見て懐かしさでいっぱいになりました。

数日後の午前、「湯気が立っている鉄瓶の姿を見たいんですが」とケイさんに電話をすると、「どうぞお出で下さい」と言われました。この日は晴れたり、曇ったりと空の動きが激しい日でしたが、伺った時はちょうど、晴れ間でした。

玄関から入ると、土間からの上がり框（かまち）付近に大きな座敷囲炉裏が置いてあって、その真ん中に鉄瓶がありました。私から電話で到着予想時間をお伝えしていたこともあって、鉄瓶からはすでに湯気が見えました。

ケイさんが鉄瓶の蓋（ふた）を少し開けてくださると、そこからさーっと湯気が立ち上がりました。その湯気にも強弱があります。湯気によって蓋の色が黄緑がかったり、灰色になったり……。それを見ているだけでも気持ち अच्छい感じがします。

じっと鉄瓶を見ていたら、途中で鉄瓶の音が変わりました。「お湯の量が変わったからなのかな」と私から言うと、「それもあるかも知れませんが」とケイさんは言いました。続けて私が、「これ、蓋で閉じこまれた音じゃないかな。でも、そのおかげで鉄瓶の口から出る湯気が元気になる。チンチンじゃないですね」と言うと、「そうですね。だから、それ書けなくて、何というか、ポコポコでもないし……」という言葉が返ってきました。

蓋を取って、中が見える状態になった時、今度ははっきりと音が聞こえてきました。「ガアー」か「ゴオー」ですね。低音の「オオー」に近い感じでも聞こえます。鉄瓶の中からは上昇気流が発生している感じで湯気が立ち上がっています。水を足すときの音もいい。鉄瓶が鳴いている感じにも

なります。

鉄瓶を見つめながら、ケイさんとの会話がはずみました。時々、「ガアー」という音が聞こえてきます。

「私、これ買ったのは四十代ですから」「じゃ、三十年前ですか」

「なんか鉄瓶が歌っているでしょう。これが何とも言えなくて……」

「お母さんの声でも聞こえてくるいいのね」

「ほんと、そうなの。ずっと母を思い出しているんですよ」

ケイさんがお茶のお供に干し柿を出してくださいました。乾き具合といい、甘さといい、抜群の出来でした。ケイさんによると、今年、干し柿づくりで失敗した人が何人もいたそうです。たぶん天候のせいだと思います。

でもケイさんはうまくできたそうです。柿の皮を剥いたらお湯にサッと通す、干すときに実をもむ、こういったことが大事だとのことでしたが、このうち実をもむことはお母さんから教わった干し柿づくりの知恵でした。鉄瓶の音を聞きながらそんな話もしました。

昔、囲炉裏には必ず鉄瓶があり、その音を聞いて私たちは育ちました。囲炉裏では鍋をかけ、煮物などをすることもありました。鍋から煮汁が噴き出る様子などはよく記憶しています。ただ、わが家の場合、囲炉裏で食事やお茶飲みなどをしていたのは、住宅を新築するまででした。新築後は囲炉裏を設置しませんでしたから。

ケイさんが今使っている鉄瓶と座敷囲炉裏は骨董屋さんで買い求めたとのこと。大きな囲炉裏がなくても、大きな火鉢ともいえる座敷囲炉裏があれば、囲炉裏を囲んだ懐かしい思い出がよみがえります。鉄瓶のお湯を沸かすこともできます。おやおや、また鉄瓶の歌がはじまりましたよ。

「かちやの歌」、初披露へ



20年続いている「夢をかなえる会」主催の「ほっとホットコンサート」。今年は12月21日（土）、14時から吉川コミュニティプラザにて行われます。大人500円。高校生以下無料。今回は久しぶりに「ピアス」の皆さんが参加、今年大きな話題となった「コウノトリさん、ありがとね」のほか、新曲の「かちやの歌」などを歌います。他にコーラスの「ゆりかご」、オカリナの「ポッポエウぐいす」「吉中吹奏楽部」が演奏します。



浦川原駅ではピアノ演奏など

ほくほく線浦川原駅にこのほどピアノが設置され、それを記念した演奏会などが22日（日）午前10時から行われます。主催は「夢あふれるまち浦川原」です。

ピアノとサックスの演奏などのほか、私も「コウノトリの観察から見てきたこと」というテーマで少し話をさせていただきます。今春のコウノトリの営巣から巣立ちまでの記録写真の解説が中心ですが、最新の画像も公開の予定です。ぜひお出かけください。



近くの道路を走る車の音に緊張するコウノトリ夫婦（17日、吉川区小苗代にて）

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月11日(水)	12月18日(水)
上越消防署	0.056	0.050
上越南消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.057	0.050
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.067	0.057
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.057	0.060
高士分遣所	0.057	0.050